

令和3年度小児がん拠点病院 看護部会

国立成育医療研究センター
看護部長 嶋田せつ子

看護部会の活動内容

1. 情報交換

看護実践および看護管理上の課題

2. 看護教育

若手を育てる・労務管理上の情報等

3. 研修

(COVID-19 の収束後研修が可能な段階において)
準備期間として情報交換・WEB受講で対応

4. リーフレットの作成

看護部会の取り組み

【令和3年度(ステップ1～3)】

■ステップ1

自施設の「小児がん病棟」での強みや看護実践内容

「もし、病院間研修が実現したらアピールできる看護の取り組み」

研修生に紹介できるもの ・こんなケアしています

・こんな取り組みやっています

■ステップ2

この資料から「もっと詳細に知りたいと思う内容」を調査
ご意見が多い実践内容を発表し共有する。

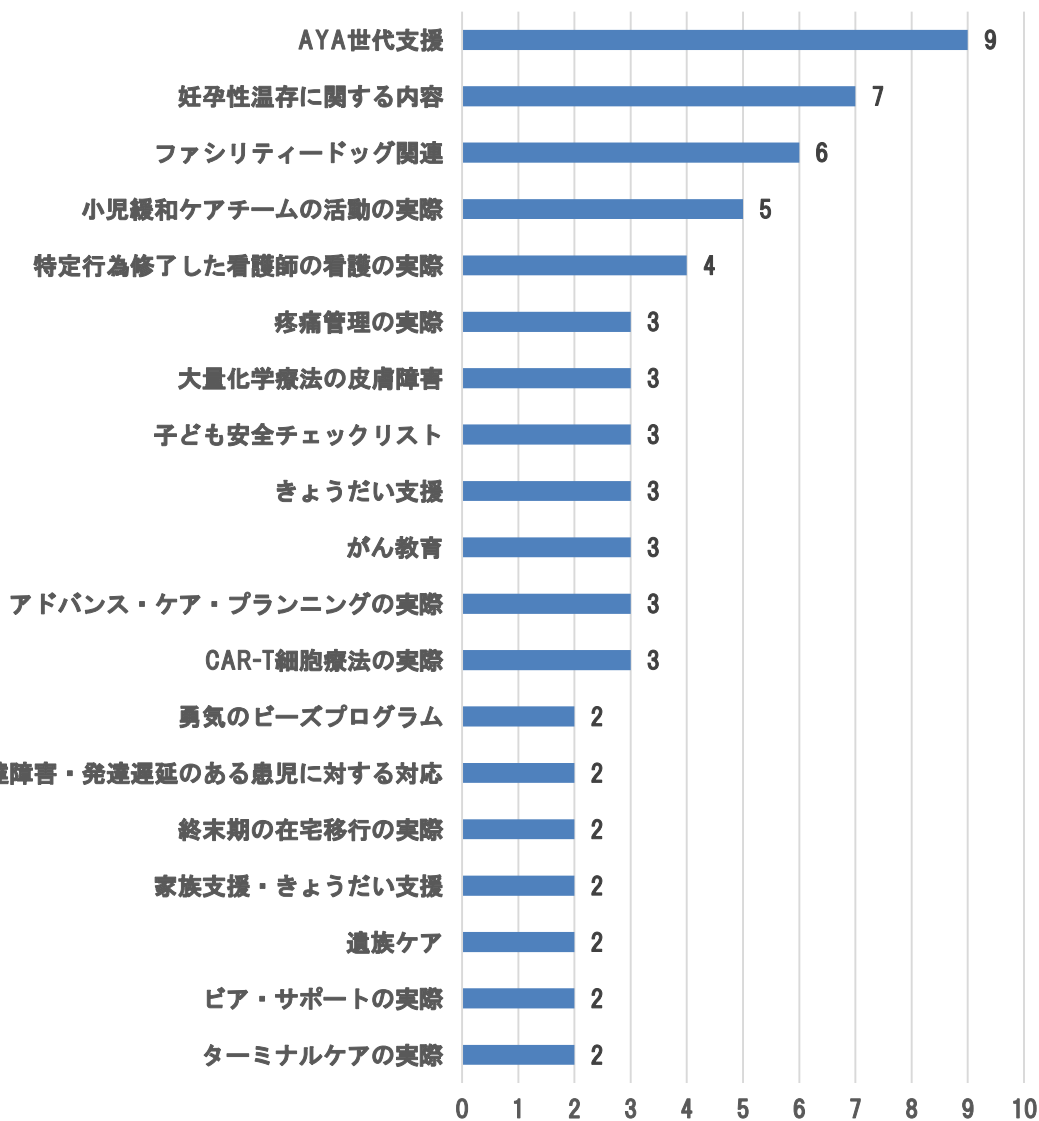
令和4年1月看護部会にて発表

■ステップ3

各病院の記載をリーフレットにまとめ各施設へ配布する。

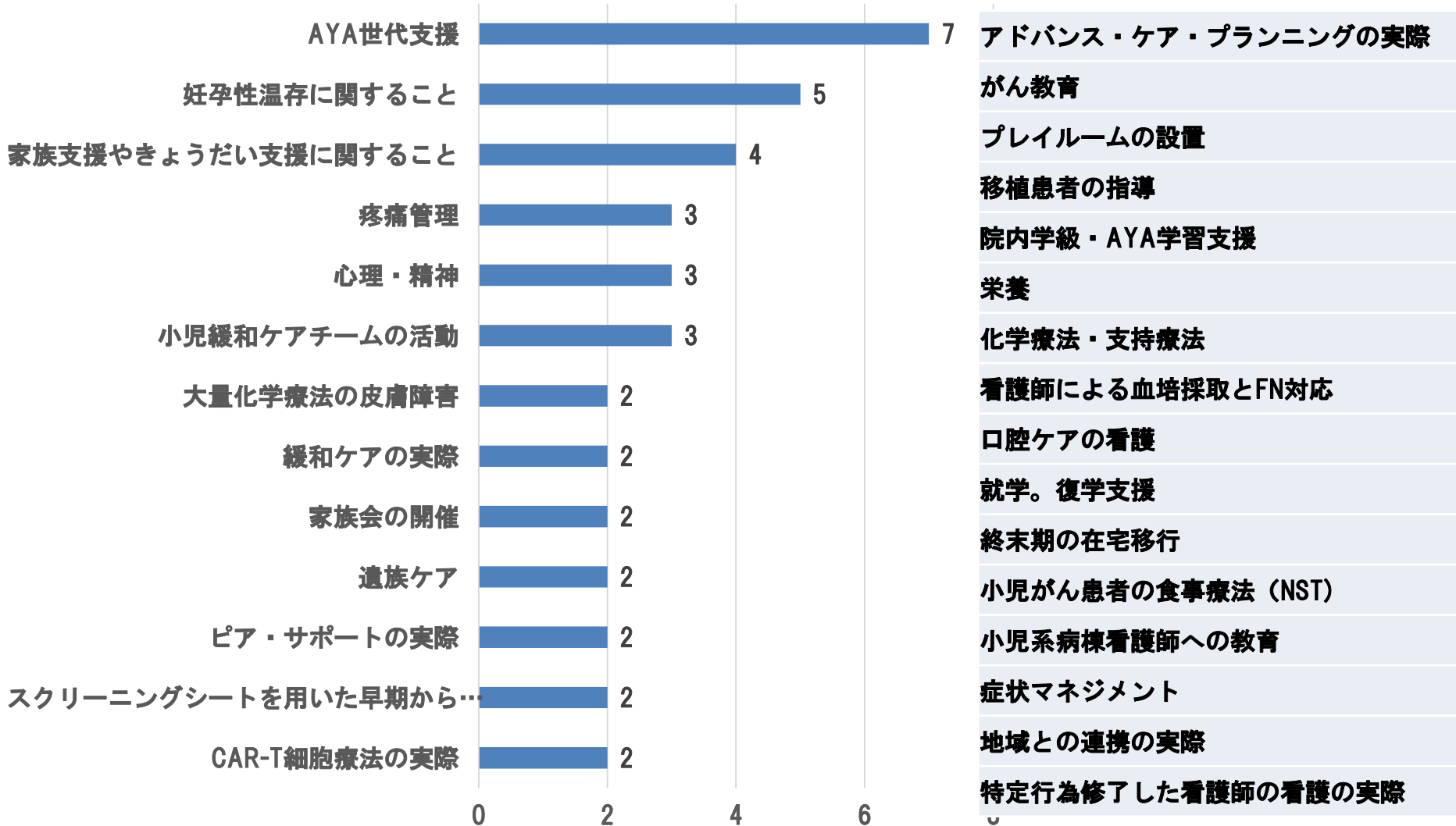
各施設のアピールできる内容に関する アンケート結果

興味のある内容・詳細に聞きたい内容

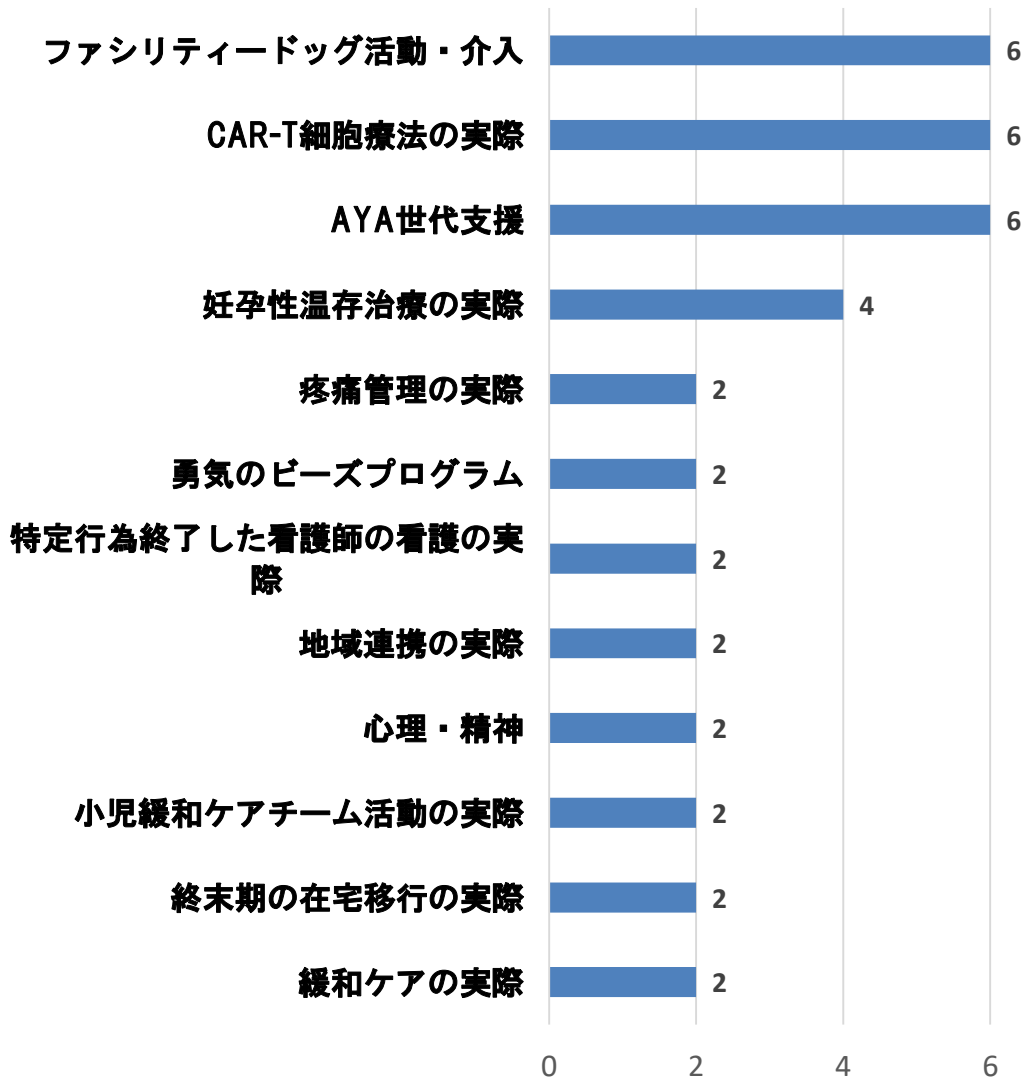


- ACPの実際
- TV会議システムの活用
- こどもの生活ケア、付き添いのない児のケア体制、看護体制、多職種との連携など
- スクリーニングシートを用いた早期からの看護介入の実際
- ピースオブカレッジ
- プレイルールの設置
- 移植患者の指導の実際
- 院内学級・AYA学習支援
- 栄養管理の実際
- 家族会の開催
- 看護師による血培採取、FN対応
- 緩和ケアの実際
- 子どもサポートチームカンファレンスの実際
- 自家・同種幹細胞移植患者の看護の実際
- 小児がん患者の食事療法（NST）
- 小児栄養サポートチームラウンド
- 小児系病棟看護師への教育の実際
- 症状マネジメント
- 心理・精神
- 地域との連携の実際
- 無鎮静での検査導入に向けての看護
- 陽子線治療時の看護

自施設で取り組みたい内容



研修を受講したい内容



ACPの実際

アドバンス・ケア・プランニングの実際

きょうだい支援

こどもの生活ケア、付き添いのない児のケア体制
看護体制 多職種との連携など

ターミナルケアの実際

ピアサポートの実際

ビーズオブカレッジ

院内学級・AYA学習支援

家族会の開催

家族支援・きょうだい支援

在宅移行支援の実際

治療スケジュール

自家・同種幹細胞移植の実際

小児がん患者の食事療法 (NST)

小児がん相談員

症状マネジメント

生殖機能温存サポート

多職種連携の実際

長期フォローアップ外来の実際

皮膚ケア

陽子線治療の実際

陽子線治療時の看護

施設の発表

1. AYA世代支援
静岡県立こども病院
2. 妊孕性温存の実際
京都大学医学部附属病院
3. 特定行為を修了した看護師の看護の実際
東京都立小児総合医療センター

国立成育医療研究センター

病院概要



病床数 490床
看護単位：22看護単位 看護師数：596名（定数） 専門・認定看護師数：41名

小児がんセンター

- ・2病棟：8階西病棟（乳幼児）、10階西病棟（学童思春期）
- ・クリーンルーム：4床
- ・入院基本料：小児入院管理料1
- ・看護方式：固定チームナーシング プライマリーナーシング
- ・勤務体制：2交替制
- ・看護の特徴：小児がん患者・家族が安心して治療を受けられ、その子らしい生活を送ることができるようにサポート体制を構築しています。また、疾患の再発による終末期の患者に対する緩和ケアや精神的ケアなど幅広い視野でサポートできるように関わっています。



	定床数	平均在院患者数	平均在院日数	病床利用率
8階西病棟（乳幼児）	27床	21.4人	14.8日	73.9%
10階西病棟（学童思春期）	36床	27.9人	13.2日	71.4%

※2020年度データ

施設情報

全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目標としています。拠点病院として、地域の小児がん診療を担う医療機関と連携し、小児がん患者及びその家族が、適正な医療と支援を受けることができるよう、全面的にサポートします。

診療受け入れ容量		専門資格保持者
小児がん病床（対応可能数）	67	がん看護専門看護師
集中治療床（PICU/HCU）	20	小児看護専門看護師 ○
フォローアップ外来	専門外来	地域看護専門看護師
診療実績（入院数）	2020	がん化学療法看護認定看護師 ○
小児がん入院患者延べ数	1,162	緩和ケア認定看護師 ○
小児がん入院患者在院延べ日数	19,830	がん性疼痛看護認定看護師
診療実績（2020年）	初発	がん放射線療法看護認定看護師
造血器腫瘍	41	摂食・嚥下障害看護認定看護師
固形腫瘍	65	皮膚・排泄ケア認定看護師 ○
診療実績（造血細胞移植）	43	
参加臨床試験数	23	

施設からのメッセージ

管理者立場から：

病棟では小児がん看護に精通した看護師がチーム医療のリーダーとなり、子どもや家族が安心・安全に長期の治療を受けられるように支援をしています。さらに、病棟保育士と連携しながら、遊びや季節ごとの行事などを通じて、がんと闘っている子どもたちがいつも笑顔でいられるよう支援をしています。

現場の立場から：

看護師は、日進月歩な小児がんの治療について日々知識習得に励みつつ、日々成長・発達する子どもの持つ力についてチームで考えています。子どもとご家族が良質な医療を受け、退院後も安心して生活が送れるよう支援しています。

	アピール内容	詳細
治療	化学療法の実践	化学療法の際の高剤師、医師との連携や副作用、支持療法に関する看護計画のブリーフィング、副作用の観察の実践、閉鎖ルートを用いた薬物予防対策等を説明する
	自覚・同種神経痛発症患者の実践	クリーンルームでの看護の実践を説明する（大量化学療法の内容に応じた看護ケアも含む）
	末梢血塗抹細胞採取の実践	末梢血の採取中の実践を説明する（キムリア生成のT細胞の採取も含む）
	大量化学療法の皮膚障害予防の実践	小児毒性固形腫瘍において、オムツケアを用いた大量化学療法が行われており、オムツケア時における皮膚障害の予防的ケアの実践を説明する
	CAR-T細胞療法の実践	病棟で行うキムリア投与時の管理と副作用の観察、副作用発生時の対応について説明する
	急性GVHD治療（テムセル）の実践	病棟で行うテムセル投与時の管理と副作用の観察、副作用発生時の対応について説明する
	放射線療法の実践	CLSと協働した無鎮静下での照射や静脈鎮静下での照射の実践について説明する
	がんゲノム医療パネル検査の実践	パネル検査の実践の流れ、Germlineの遺伝子変異の可能性が考えられる等の遺伝子と連携の実践について説明する
	CV管理の実践	CV固定方法、管理、家族指導の実践について説明する
	顕静検査の実践	マルク、ルンバル、CT、MRIなどの顕静検査の実践を説明する
看護ケア	疼痛管理の実践	化学療法、移植後の副作用による疼痛緩和の実践と緩和ケアチームとの連携を説明する
	皮膚障害予防と発生時の対応の実践	オムツかぶれ等の皮膚障害の発生の予防と発生時の対応、WOCの国診も含めた多職種連携の実践を説明する
	終末期の患者の在宅移行の実践	終末期の患者の在宅療養に関する訪問診療、訪問看護との連携や在宅移行に必要な医師的ケアの指導等 病棟と在宅医療部門との連携の実践を説明する
	看護師による血増採取とFN発生時の対応	看護師が血増採取を行うことで、FN発生時の抗菌薬の遅やかな投与に繋がった実践やコンタミ予防も含めた血増採取技術の教育体制の実践について説明する
	長期フォローアップ外来の実践	抗がん剤による長期的な身体への影響、生活支援等を含めた実践を説明する
	造血細胞移植の看護	造血細胞移植を受ける患者・家族の看護の実践を説明する
	化学療法看護	化学療法を受ける患者・家族への看護について説明する
	プリパレーションの実践	プリパレーションツール、多職種との連携などの実践を説明する
	医療安全対策	医療安全対策の実践について説明する
	感染対策	感染対策の実践について説明する
チーム医療	けやき特別支援学校との連携の実践	入院中の就学支援、退院後の復学支援、日々の教員との連携の実践を説明する
	多職種連携の実践/チームカンファレンスの実践	医師、薬剤師、CLS、保育士、栄養士などの多職種との連携の実践を説明する 心理士も含めた多職種カンファレンスの実践を説明する
	小児緩和ケアチームの活動の実践	小児緩和ケアチームの構成員、活動の実践について説明する